

2023年度 第5回 藤沢市立御所見中学校 学校運営協議会会議録

開催日時 2024年2月28日（水） 15時00分～

場 所 藤沢市立御所見中学校 図書館

【学校運営協議会委員（コミュニティ・スクール）】

1	会長	大井 秀幸	ふれあい共育ネットワーク（三者連携）代表
2		鈴野 達也	青少年育成協力会（青少協）代表
3		吉田 康行（欠席）	御所見中学校 PTA 会長
4		加藤 宏章	元御所見中学校 PTA 会長
5		森 祐一	元御所見中学校 PTA 会長
6		角田 宗夫（欠席）	元御所見中学校評議員、元藤沢市立中学校長
7		鈴木 理恵	元御所見中学校評議員
8		佐藤 孝子	御所見地区民生員
9		須藤 和久	御所見市民センター長
10		坂本 哲也	CSW、市社会福祉協議会
11	副会長	中岡 正春	御所見中学校・校長
12		荒船 友樹	御所見中学校・教頭
13		小川 直美	御所見中学校・地域担当
14	傍聴人	近藤 雅美	藤沢市教育委員会総務課
15	傍聴人	金子 剛	御所見中学校・職員

1. 議題

（2）御所見中学校近況報告 〔校長〕

本日コミスク最終回。3年生も卒業式までのカウントダウンが始まった。ネット出願などの変革がある中、出願・受験・手続きにおいてそれぞれトラブルが起きている。まだ課題のある制度だが、ていねいに対応していきたい。

1・2年生はまとめの時期に入った。しかし、1クラスが4回目の学級閉鎖という事態になっている。学習の補填を計画している。

（3）『2023（令和5）年度 学校評価アンケート集約』 〔教頭〕

＊別紙参照

～学校より～

- ・働き方改革が求められている。できる限り取り組んではいるが、まだできることはあると思う。現場では圧倒的に職員が足りていない。御所見中に限らず、定数に満たない状況で教育活動をしている。そんな中、個々に応じた指導をすることが求められているため、より人手不足が現場を追い詰めている。
- ・コミスクについて職員間での周知が高まっていない。手立てを講じたいと考えている。

- ・アンケートで生徒は、授業についてある程度の満足を感じていると答えていたが、保護者はそう思っていない様子うかがえた。例年より学習への取り組みに改善が見られたが、授業で分からないところをそのままにしてしまう生徒が多い点は変わらなかった。また、そうじをきちんとしている意識が高いことも明らかになった。
- ・今回のアンケートの返答率はおよそ20%だった。フォームを活用し、回答しやすい環境をつくったが、紙の時の方が多くの返事が返ってきていた。
- ・小中合同のコミスクが増えている。御所見地区も検討している。

～参加者より～

- ・アンケートに答える方は、客観的になれていないことが多いと感じる。そのため、実情を知らないままイメージで答えてしまう。子どもとコミュニケーションがとれていないこともあり、知っているようで知らないということもある。
- ・先生が忙しいのはみんな知っているけど、何で忙しいのかは分からない。先生たちが伝える必要があると思う。昔は、夜に学年・学校単位で保護者集会がよく行われていた。そこで保護者・教員が会い、意見を交換する機会がたくさんあったから、相互理解ができた。やはりコミュニケーションが大事。
- ・最近の高校生は字が書けなくなっていると聞いた。実際どうなのか。
→実際に格段に減っている。社会ではデジタルの普及で必要な場面も減っている。文系科目は意識して指導しているが、学校がなかったら書く機会はほとんどなくなると思う。
学習内容の変化も要因になっている。昔は、『覚える>考える』だったが、今は『覚える<考える』である。そのため、書く練習をする時間を縮小し、考える時間をつくっている。
→練習が減ったら、定着が弱くなってしまうですね。デジタルとアナログがごちゃまぜですね。
→現場も悩んでいる。ジレンマを抱えている。
- ・『子どもの間違った行動を適切に指導している』『命の大切さや集団のルール・マナーについて適切に指導している』などの項目に低評価がついているのが気になった。これらは各家庭が指導することで、学校が主でやることではないと思うから。
- ・学校が適切に情報を流していないと感じている人がいるが、学校は手紙、HP、メールなどを活用して膨大な情報を発信していると思う。『欲しい情報に気づけていない＝流していない』になっ
ているように感じる。
- ・回答率が20%しかないことに驚いた。おおかた満足している人はわざわざ答えないので、ポジティブな意見は少なくなり、ネガティブな意見が多くなると思う。それを見た人が「そうなんだ」と、ネガティブな意見に流されないか心配。
- ・昔より、保護者と教員間に距離を感じる。以前は、「保護者がもう少しこうしてくれるといいんだけどな」という雑談で、学校からPTAにして欲しいことが発信され、PTAを通してジワジワ広がっていくことがあった。リクエストを伝え合うと理解が深まると思う。お互い遠慮しているところがあるかも。
- ・卒業式での『PTA 記念品』について、入っていない生徒を除外するところもあると聞いた。お金のことを考えると、理解はできるが気持ちとしては引っかけが残る。だから、PTA 記念品はなくすのも、理解はできるが、何かしたいという気持ちを抑えつけることになるため、引っかかる。
- ・PTAは役員の仕事があるから敬遠されがちだが、保護者同士のつながりを育む場でもある。おとなが、おとなとして周囲とつながることができていれば、アンケートにあるような困りごとは減ると思う。

- ・御所見中学校では、PTA の活動が活発になり始め、これからというときにコロナによる自粛体制になってしまった。また、PTA は強制参加ではないという考えも大きくなっている。しかし、おとなが集まる場所を守る必要性も感じている。今、ここで声を上げないと、親同士のつながりが本当に希薄になってしまう。コミスクが保護者と学校の架け橋になれるかもしれない。
- ・PTA の活動内容でコミスクが担えるものがあるかもしれない。
- ・子ども食堂を活用して欲しい。次のような大人同士のつながりで、保護者の不安が学校に伝わったり、学校の頑張りが保護者に伝わったりすることがある。

(実例)

A さん (●年生保護者) : ▲年■組、大変らしいわね。

B さん (子ども食堂) : そうなんだ。

ー別日ー

C さん (▲年■組保護者) : クラスが大変みたいなのよね。

B さん : そうなんだ。

ー別日ー

B さん : 先生。▲年■組大変みたいです。

D さん (校長) : そうなんだよ。でも、いま、こういう取り組みをする準備をしているんだよ。

B さん : そうなんだ。

ー別日ー

B さん : 校長先生と話したら、こういう取り組みをしようとしているらしいよ。

A さん・C さん : そうなんだ。(もうちょっと様子をみてみようかしら?)

(4)『2023 年度 学校運営協議会 活動状況報告書 (案)』 [中岡副会長]

*報告書案は別紙

(5) その他

●(次年度) 新規コミスクメンバー【再掲】

- ・山本 亜矢 さん [ココロまち診療所 アロマ&ハーバルセラピスト]
- ・長谷部 葉子 さん [慶應義塾大学 環境情報学部 准教授]

●R6 学校運営協議会委員向け研修会の日程 (事前通知)

日 時 : 5 月 15 日 (水) 午後 2 時から (2 時間程度)

場 所 : 湘南台文化センター (市民シアター・大ホール)

対象者 : 学校運営協議会委員

講 師 : 生重幸恵氏

●次回の会議日程

第 1 回 2024 年 5 月 21 日 (火) 16 : 00 ~ 御所見中学校

第 2 回 2024 年 7 月 4 日 (火) 16 : 00 ~ 御所見中学校